

経和会会報

発行 埼玉大学経済学部同窓会 経和会会長 田坂 敏幸 / 編集 広報委員長 平本 一郎
さいたま市桜区下大久保255番地 TEL 048-858-9218 (印刷: 望月印刷㈱)

経和会ホームページをご利用ください

URL <http://www.keiwakai.net>

メール webmanager@keiwakai.net

勤務先内同窓会の立ち上げを!

会長 田坂 敏幸 (S四七年卒)



埼玉大学が設立されて60年以上が経ち、名実共に立派な国立大学法人になり

つつあります。経済の卒業生も12,000名近い数になりました。

今、私たち卒業生が行わなければいけないことは経和会をこの歴史に相応しい同窓会組織にすることです。

卒業生が学んだ大学に愛着を持ち、

同窓会への参加意識を高め、さらにこれから大学を巣立つ後輩たちを温かく社会に迎える同窓会体制を

作ることだと思います。そこで提案ですが、企業・官公庁等団体に勤務

されている方々に勤務先内埼玉大学同窓会を立ち上げていただきたいの

です。嫌がる企業もあるかもしれませんが、学閥を作ろうとしている訳

ではありません。年に1、2度の懇親会を行い、消息を確かめ合い、互

いに励ましあい、時には現役学生の就職時のOB・OG訪問を受け入れ

て欲しいのです。既に行っている勤務先もありかと思いますが、まだ

設立していない勤務先は是非設立を

お願いします。

そして各勤務先内同窓会が手を結び全国各地に支部を作って行くことができませんか。二人いれば同窓会ができます。幸い私が勤務してきた

住友海上(現三井住友海上)では「常盤会」という同窓会組織があり現在

約70名の卒業生がおり、今でも内定者の歓迎会等の活動を行っております。

入社第1号の大澤辰英氏が昭和32年に入社して翌年以來続いており

3年前に50周年記念懇親会を行い、みんなで祝ったところです。

一方で経和会は今後開催される東京交流会で勤務先内同窓会の設立を

確認しお互い祝って行きたいと思えます。経和会が中心となって他学部

同窓会にも声かけ働きかけたいします。そしてその輪を大きくし、徐々に同窓会の伝統を築き上げて行きたいと思ひます。

皆さん、勤務先内同窓会を立ち上げてその情報を経和会事務局までお寄せください。本紙会報でも勤務先

内同窓会をお知らせできる日が来ることを楽しみにしております。

平成22年度

経和会総会のご案内

一 日時 平成22年7月10日(土)

● 総会 14時(受付開始13時30分)

● 懇親会 15時~17時

二 住所 埼玉大学大久保キャンパス

住所 さいたま市桜区下大久保255

電話 048(858)9218

● 総会 経済学部A棟5階

● 懇親会 A504講義室

三 懇親会 今度も昨年度の総会に引き続き、

現役学生とOB・OGとして交流会を企画・実施して社会問題・就職環境について

就業経験・人生経験からのアドバイス等の場としたいと考えています。是非とも、積極的なご参加をお願いします。

四 懇親会会費 5,000円

(現役学生・院生は無料です)

五 交通手段

● JR京浜東北線「北浦和駅」より、埼玉大学行きバス乗車15分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、埼玉大学行きバス乗車10分程度

● JR埼京線「南与野駅」より、タクシー乗車では料金は1,000円程度

六 出欠 6月21日(月)までに、同封の「はがき」にてお申し込みください。

埼玉大学同窓会連合会主催

東京交流会

場所: 東京駅サピアタワー、5Fサピアホール

日時: 平成22年10月27日(水) 午後6時受付、6時30分開始

会費: 6,000円程度

定員: 約300名

決まりましたら各学部同窓会のホームページ等にてご案内します。

平成21年度 卒業生の就職状況

今年度は就職難2年目で心配されていましたが経済学部生は昨年並みの内定状況でほっとしました。特徴としては相変わらず公務員志望(48名)が多く、公務員に強い経済学部の印象がさらに強まったことでしょう。中ではリターンも多く、地方の県庁や市役所に内定が多く出ています。一方、金融機関や保険業界では就職難を反映して少なく、都市銀行では「りそなグループ」、地方の金融機関では「七十七銀行」などが目立っています。また、国民金融公庫と中小企業金融公庫が統合してできた日本政策金融公庫なども人気がありました。保険業界は相変わらず女子学生に人気が高く東京海上日動は内定3名全員が女性でした。

目新しいところではソニー生命、芙蓉総合リースなどのリース業界への進出が目立ちました。製造業には相変わらず志望者が少なく、自動車メーカーや大手電機メーカーの内定者がほとんど見当たりませんでした。またうれしいことに今年も4名の公認会計士が誕生しました。

皆さんの活躍を期待しています。

埼玉大学 経済学部 21年度 主な内定先リスト (平成22年3月現在)

公務員関係

48

国土交通省 2
総務省 1
財務局・国税庁関係 7
東京都 5
東京都特別区 11
埼玉県 2
さいたま市 4
国立大学 2
(新潟、山梨各1)

新潟県 1
愛媛県 1
など

金融・保険

60

りそなグループ 7
三井住友銀行 2
みずほフィナンシャル 2
七十七銀行 3
栃木銀行 3

武蔵野銀行 2
政策金融公庫 4
東京海上日動 3
損保ジャパン 2
明治安田生命 2
三井生命 2
日本生命 1
ソニー生命 1
など

他、内定の主な企業

全葉工業、トヨタ紡績、三菱マテリアル、片倉工業、森永製菓、日本精工、日本大昭和製紙、パナソニック、芙蓉総合リース、三井住友ファイナンス&リース など

就職活動体験記



株式会社オービック 内定
埼玉大学経済学部
経済学科卒業
山岡 翔

私の就職活動を振り返ると、三年次の夏から、1dayインターンと言われる、短期で企業や仕事を理解できるプログラムに積極的に参加したことを思い出します。業種は問わず、様々な企業を見ていく中で、自分がやりたい仕事が見つかる、そのような手ごたえを感じました。また、その中で出会った友人は、大学内の閉じた交友関係以外で、情報交換や意見をぶつけあえる、貴重な存在であったと思います。内定先については、「自分は何をしてきたのか」「自分は何をしたいのか」それらを素直に伝えた結果、最も自分に合った企業が残ったという印象です。百年に一度の不況。そう語られた社会経済情勢の中で、就職活動は無事終えることができ、ほっとしています。お世話になった皆様に感謝の気持ちを伝えて、この体験記を終わろうと思います。ありがとうございました。



東京国税局 内定
埼玉大学経済学部
経営学科卒業
大塚 啓史

私が公務員を目指そうと思ったきっかけは、人や社会に影響を与え、貢献できる仕事は何かということを考え、それができるのは行政であると思ったからです。筆記試験では大学受験以上の勉強をし、面接においては自分を飾らず、素直な自分をアピールすることが非常に大切であるということを実感しました。就職活動をする方は今まで自分が経験してきたことをノートに書きだして見てください。自分が面接担当者にアピールできること・自分がその会社で活躍できることがきっと見つかるはずです。社会に出るにあたり、今ようやくスタート地点に立てたという思いです。周囲から尊敬される人物になるというのを目標にして、どのような事柄にも恐れず、チャレンジする気持ちを忘れずに仕事に従事したいと思います。最後に私を支えてくれた両親・友達、自分を成長させてくれたゼミの同輩・先輩に感謝するとともに、田谷昭一先生にこの場を借りて心からお礼を申し上げます。

就職カウンセラーの 所感

就職活動を頑張っている経済学部生の皆さん、今年も就職氷河期などと言われていますが就職活動成功の秘訣をお教えます。それは基本を大切にする事です。

1. 「自己PR」をしっかりと作り上げること。

ここは埼玉大学独自の必殺技「PREP」を活用して自己分析のできた文章を用意することです。

2. 「学生時代に頑張ったこと」はアルバイトや

インターンシップ。 体験記 埼玉りそな銀行

経済学部三年 日下田雄飛

私は埼玉りそな銀行に2009年8月にインターン生としてお世話になりました。十日間のカリキュラムは、支店業務や工場見学、銀行業務における座学を通して行われました。

参加して良かった点は、銀行の仕事の内容、実際の業務風景を見て、自分の働く姿というものがイメージできたことです。職員の多くの方々と交流し、疑問に思う点を質問し、それらを丁寧に答えていただけたことが大変役に立ちました。その中で、銀行業の重要性について考えることができました。次に、参加した仲間との交流です。同じ業種を志す仲間と出会えたことは、就職活動において大きな支えになると思います。お互いに刺激

サークル活動など、題材はなんでもよいのですが、ポイントが一つあります。それは困難を見し、それを創意工夫してどのように克服したかを述べるストーリー性が必要なことです。この質問は皆さんの行動特性（コンピテンシー）をチェックするための質問で仕事を成果につなげることが出来る人間かどうかを見極める企業にとって重要な設問です。ここ1、2年流行の設問です。

3. 「志望動機」については企業の魅力をいかに述べるかです。企業の魅力発見には企業情報やCSRを隅から隅まで勉強して自分で感じた魅力を探してください。

し合い、知り合えた縁を大切にしていきたいと思っています。

インターンシップを通じて本当にたくさんの方とを学ぶことができたと思います。銀行業に対する知識はもちろんのこと、ビジネスマナーやコミュニケーションの重要性など、ただ漫然と学生生活を送るだけでは得られない貴重な体験をすることができました。その中で、自分の「仕事に対する考え方」が大きく変わったことを実感しています。自分が「プロフェッショナルになる」ことを強く自覚し、就職活動や今後の人生に活かしていきたいと思っています。また、今回学んだコミュニケーションの大切さを忘れず、信頼し合える人間関係を作っていきたいと思っています。最後に、研修中にお世話になった皆さんには本当に感謝しています。また、インターンシップで出会えた仲間との縁を大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。

OGの声

奥野 舞さん
インタビュ



奥野 舞さん
埼玉大学経済学部
平成21年3月卒業
日本銀行 入行

去年の三月に埼玉大学を卒業し、日本銀行に入行してから早くも一年が過ぎようとしています。

私は現在、記名国債を扱う担当で日々業務に励んでいます。この一年は私にとって鍛錬の年でした。自由

気ままに生活していた大学生から一変、四月一日から急に社会人として責任を伴う立場に置かれ、敬語もま

まならず、電話一本とのドキドキしながら、がむしゃらに日々を歩んできました。たくさん注意され、

自分の甘さを指摘されながらも毎日先輩方に鍛えていただいています。

私の就職活動は順調とはかけ離れたもので、何社も内定をいただいた華々しい思い出があるわけでもなく日本銀行1社の内定のみで

した。就職活動と聞いて思いうすのは、スーツを着て自宅の洗面台の鏡の前に立ち、何度も何度も面接の練習をしたことです。話を自分の表情や笑顔にとっても気を遣いました。社会人になって改めて感じることは、就職活動は社会人としての準備段階にすぎないということです。ほんの何ヶ月かのわずかな期間で自分の働く会社と「出会う」とは本当に大変な作業です。だからこそ本気になって一生懸命になって欲しいです。最後に埼玉大生の皆様、大学生生活を楽しんでください。また、遊ぶのと同じくらい授業も大切にしてください。私も埼玉大学で過ごした日々を思い出に頑張りたいと思います。

埼玉大学創立60周年記念連続市民講座

「埼玉学のすすめ ―埼玉の過去・現在・未来を知る―」が行われました。

2009年3月28日(土)から12月19日(土)まで全10回行われましたが、このうち経済学部教員による第3回(5月23日(土))及び第7回(9月26日(土))について紹介します。

第3回連続市民講座 「彩の国はどこへ?―道州制下の地方自治―」

2009年5月23日(土)、埼玉大学創立60周年記念連続市民講座第3回を実施しました。

テーマは「彩の国はどこへ?―道州制下の地方自治―」で、講師は経済学部の齋藤友之准教授です。



齋藤准教授は、道州制論の歴史・特徴、問題点や隆盛の理由など、一般的な内容から、道州制と憲法改正を結びつけた政治的な内容まで講義されました。

講義終了後も、齋藤准教授に質問を投げかける方が多くいらっしゃり、改めて受講者の問題意識の高さがうかがえました。

受講者からは、「難しかったけど今まで考えたことがない内容だったので、これから勉強していきたい」との感想もよせられ、道州制だけでなく、政治にも関心を持った方も多いのではないのでしょうか。



第7回連続市民講座

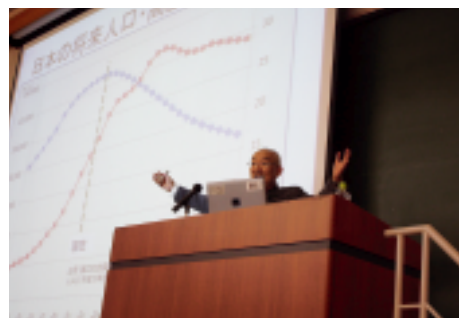
「埼玉の新しいまちづくりを考える―〈結い〉をキーワードに―」を実施しました

2009年9月26日(土)、埼玉大学創立60周年記念連続市民講座第7回を実施しました。

テーマは「埼玉の新しいまちづくりを考える―〈結い〉をキーワードに―」で、講師は経済学部の岩見良太郎教授です。

岩見教授は、現在の人口減少・高齢化社会による「縮み社会」の問題を指摘し、従来のモノ、カネ、エネルギー依存の都市計画から脱却し、人と人、自然、空間との関係を生かした新しいまちづくりを提案しました。

そして、新しいまちづくりのキーワードとして、活動空間としての「場所」、意味づけられた空間としての「場所」をあげ、意味づけられたネットワークとしての「結い」をあげ、「場」から生み出される豊かな「場所」、
「結い」を持っている人は、豊かな暮らしをしていると述べました。



第60回 むつめ祭を開催

去る2009年11月1日(日)2日(月)3日(火・祝)に埼玉大学第60回むつめ祭を開催致しました。第60回を記念して毎年恒例の各企画の規模の拡大や大



学との合同企画の講演会を行い、来場者数も3万人を超えるなど大盛況でした。これも同窓会の皆様方からのご協力があった賜物です。今後ともむつめ祭を宜しくお願い致します。



👑ミス埼大コンテスト2009👑

2009年度から、ミス埼大コンテストを、むつめ祭常任委員会と学生団体FP「エフ・ビー」との共催にしました。約700名の観客者があり、初の審査員制度も導入し、OB・OGの方や埼大通り商店会の方にも協力して頂きました。

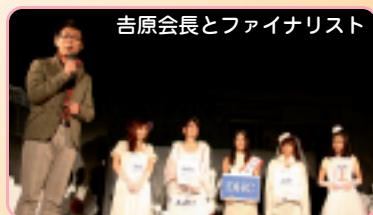
ミスコン参加者は、主に教育学部・工学部・教養学部の人たちで、グランプリは、教育学部の人でした。今年の〈ミス埼大コンテスト2010×ファッションショー〉にもご期待下さい!
(経済学部 臼井大貴)



ミス埼玉大学
大橋由起子さん



表彰式



吉原会長とファイナリスト

ゼミナール 紹介 コーナー

長島正治 ゼミナール

経済学科

長島ゼミは開発経済学を勉強するゼミです。発展途上国の貧困格差は先進国のそれよりも大きいと言われてい
ます。それは本当なのか、そうならばそれはなぜか、で
はどうすればいいのか、ということケーススタディを
通して考えています。また、開発経済学という学問の性



質上当然経済理論の勉強は避けては通れないものであります。そのため、毎週1、2回ゼミ生自ら集まり、自

主的にサブゼミという勉強会を開き、それぞれが経済学のスキルアップを図り、開発経済学の理解を深めるため切磋琢磨しています。

ゼミ以外のイベントとしては、毎年1回OB・OGが集う鶴桜会、サブゼミで培った力を発揮する日本経済学協会主催のERE試験、ゼミ生同士の親睦を目的としたゼミ旅行、不定期に高頻度でゼミ終了後に開かれる飲み会などがあります。また3年に一度行われるワークショップでは、タイの王立チュラロンコーン大学と埼玉大学でシンポジウムを開き、その企画、運営、会場設営を長島ゼミの学生が担当します。この様に、長島ゼミは知的でグローバルな視野を身につけるために、学生がアクティブに活動しているゼミです。
(井口大資)

尾西正美 ゼミナール

経営学科

尾西正美ゼミは、毎回企業研究をし、それについてチームに別れてディスカッションをし、理解を深め合うゼミです。ゼミ生は、個々に企業の研究をして、みんなで議論を重ねそれを共有します。一人ひとりが、自分の考えを発表することによって、理論的に考える力や、それに伴う自分の考えを人に伝える力、また人前で発言する力を養うことができます。毎週ディスカッションをしたあと、担当のチームがその回の企業についてまとめ、半期ごとに冊子を作成します。企業の研究を綿密に行うことによって知識も得られ、それが冊子になっていつでも読み返すことができ、みんなで共有した知識が形になって残るといっても魅力です。

毎回白熱した議論も繰り広げられる活発なゼミですが、基本的には和気あいあいとした雰囲気、欠席

者がいないことも特徴です。

毎週のディスカッションとは別に、年2回から3回ほどの飲み会と、年1回の合宿があります。合宿では、経済を意識したボードゲームなどをしてみんなで夜を明かし、こちらも大変盛り上がりを見せます。

大学生活を過ごす中で自らを非常に高めることのできるゼミです。

(小関智明)



岩見良太郎 ゼミナール

社会環境設計学科

岩見ゼミは、来年度が最後の年となり、私たち2007年入学生が最後のゼミ生となりました。

卒業生には、公務員や金融機関、ディベロッパーだけでなく起業された方もいらっしゃいます。OBの方々に会いすることはなかなかありませんが、ゼミで学んだ岩見イズムを実践されているかと思えます。岩見ゼミでは、住民主体のまちづくりをテーマに置き、2008年



度は高齢者をキーワードに、東京都の団地にフィールドを置き、団地住民に対してインタビュー形式で調査を行いました。そのデータを集計し報告書にまとめ、自治会役員の方々に報告会を行いました。そして2009年度は、「土地区画整理」「再開発」をキーワードに、住民の方々のお話を聞いて、勉強させていただきました。ゼミを通して、授業ではわからなかった「住民の生の声」を実際に聞くことができたことが、一番良い経験となりました。

まちづくりは答えを見つけることがとても難しい学問であるように思います。しかし、それぞれの考えるまちづくりをカタチにできるよう、私たちも卒業研究に励みたいと思っています。

(鹿野祐彰)

同期会だより

創立60周年記念ゴルフ大会を開催

松村 雄 昭和38年卒

恒例となりました卒業生の懇親ゴルフ「むつめゴルフ会」を昨年は創立記念行事の一環として表記のように銘打って、11月15日曜日に埼玉の森林公園ゴルフ倶楽部で開催しました。参加者は大学に關係する一般参加を含め左の通りです。当日は深まり行く秋空の下に和氣藹々の中にも好プレーが続出、ベストグロスには3人が並ぶという大接戦となりました。競技は新ベリアのダブルバーカッター方式で行った結果、グロス89、ハンディ18・0、ネット71・0で鈴木一成さんが優勝、準優勝松村雄、3位氏家寛一さんとなりました。ちなみに最多打数は123でした。競技終了後、表彰式を兼ねて懇親会が行われ、旧交を温めつつ翌年の再会を約しました。今年は第5回むつめゴルフ会を11月12日金曜日に森林公園ゴルフ倶楽部で開催します。9月になりましたら経和会ホームページにも掲載してご案内申し上げますので、同期会、ゼミ、サークル仲間等お誘い合せの上多数ご参加下さい。勿論個人参加も大歓迎です。

参加者（敬称略、数字は卒業年次

（昭和、Hは平成）と学部）

小林健二34経、熊登御堂範雄35経、小澤清之38経、清水安衛38経、高久哲治38経、田口紘一38経、内藤勝久38経、松村雄38経、佐渡晋一郎45経、鈴木一成47経、鈴木均47経、松崎正代48経、清水洋二48経、小林千秋48経、出口雅史H12経、大西利樹42工、大倉忠廣42工、田口功42工、寺内慎一44教養、関根増男44教養、井手博46教養、高橋令幸38理

一般参加者 栗原 隆、小島高志、

早川正則、岩野大樹、氏家寛一



関西支部設立記念交流会について

関西支部長 飯塚 文夫 昭和47年卒

昨年度から経和会関西支部が活動を始めますが、此の度標記交流会を開催致しましたので報告致します。

飯塚支部長、中荳副支部長の奔走で一時は10名近くまで参加者が集まるかと思えたのですが、やはりどうしても業務優先は否めなく、最終的には都合6名の参加となりました。

交流会は和氣藹々と大学時代のこと友人たち、同期の仲間、むつめ祭のこと北浦和のキャンパス、下大久保のキャンパスと話は広がり和やかに楽しい一タが、それこそあつ！と言う間に経過しました。名残惜しかったのですが、今回は今回参加した者が夫々2、3名ずつ誘い合わせて参加しようと言うことになりました。

関西在住・勤務の皆さん、是非今度のご参加ください。

連絡は中荳副支部長が転勤となりましたので、飯塚文夫支部長までお願いします。

記

開催日時 平成21年10月9日(金)18:00~20:00

開催場所 大阪住友クラブ 大阪市西区江戸堀1-13-10 成泉ビルディング

参加者 6名参加、残念ながら2名程が当日仕事でキャンセルとなった。

関西支部 S46卒 浜野 眞一

S47卒 飯塚 文夫

S56卒 中荳 雅彦

(関西支部副支部長/幹事長)

H04卒 小平 哲夫

H20卒 宮下 二郎

S47卒 須藤 富平

連絡先 経和会関西支部

支部長 飯塚 文夫

電話 090-6677-0891

E-mail funio-gians2008vz@softbank.ne.jp

第2回 経和会 交流会



「第2回 経和会 交流会」が盛会のうちに終了しました。

日時：平成22年2月17日(水) 18:00~20:00

場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

穂高の間

参加：58名

司会進行：須藤富平 副会長／総務委員長（S47年卒）

1. 開会挨拶

2. 田坂敏幸 経和会会長(S47年卒)挨拶

3. 伊藤 修 埼玉大学経済学部長ご挨拶

4. 佐藤輝韶氏(S37年卒)より

乾杯の発声

5. 歓談

6. スピーチ

①斎藤 洋氏(S40年卒)

②藤川恭一氏(S50年卒)

③内藤勝久氏(S38年卒)

④堀 誠人氏(S42年卒)

⑤竹田光明氏(S55年卒)

7. 歓談

8. トピックス紹介

①棚木 誠氏

(S45年卒教養学部からの参加)

②田中賢二・柴田陽子・佐渡晋一郎 各氏

(S45年卒本日参加11名の代表)

9. 歓談

10. 中締め 入野勝見 前理事(S43卒)

11. 事務局からの連絡

・経和会報、第4版の会員名簿

………平本一郎 副会長(S53年卒)

・7月10日(土)総会出席呼び掛け

………同

・「むつめ祭」の紹介・呼び掛け

………飯島辰夫氏(S39年卒)

・むつめゴルフ(11月12日開催)の案内

………松村 雄氏(S38年卒)

12. 閉会挨拶

平成22年2月17日(水) 経和会第2回交流会

経和会の活動を如何に充実させるかと、

役員一同常々考えられています。その中で、

忙しい会員の方に参加しやすい形の会を開

こうということで、平日の仕事帰りに都心

でということの第2回目を企画し、2月17

日(水)18:00~20:00にアルカディア市ヶ谷

(私学会館) 穂高の間で開催しました。参

加者58名で司会は須藤副会長(S47)が担

当し、交流の輪が着実に広がりました。

第2回「経和会交流会」参加者 卒年順

伊藤 修 名誉会長 昭和29年卒	大津 徳明 久保 孝夫 佐渡晋一郎 昭和29年卒	藤原 晃 昭和55年卒 竹田 光明
仲佐 秀雄 昭和32年卒	柴田 陽子 杉浦 賢二 田中 藤高 昭和35年卒	昭和57年卒 柳沢ひとみ
渡辺 喜一 昭和35年卒	野口 敏明 福本 清 佐藤 輝韶 昭和37年卒	昭和58年卒 荒川 泰行 実藤 秀志
鈴木 久義 昭和37年卒	山田 誠 ※棚木 浩 昭和38年卒	昭和59年卒 鈴木 浩
内藤 勝久 松村 雄 昭和39年卒	杉野 弘恭 昭和46年卒 昭和47年卒	昭和61年卒 古屋 久昭
飯島 辰夫 粕谷 渥 鎌倉 一郎 昭和40年卒	鈴木 一成 須藤 富平 高野 政伸 田坂 敏幸 斎藤 洋 昭和42年卒	平成2年卒 栗原 良二 渡辺 英臣 平成3年卒 中村 和美
西ヶ谷浩正 堀 誠人 昭和43年卒	松崎 健 室屋 達雄 昭和50年卒	平成5年卒 田部井真弓 平成10年卒 福島 昇
入野 勝見 永井 孝一 昭和44年卒	高野 政之 藤川 恭一 宮脇 豊 昭和51年卒	平成11年院卒 渡辺 美久 平成12年卒 土井 大樹
権田 憲吉 ※関根 増男 昭和45年卒	高野 靖 昭和52年卒 岡本 圭司 昭和53年卒	平成20年卒 野村 俊介 平成21年卒 及川 太平
石田 肇 大井 洋文	庄 達夫 平本 一郎	※教養学部卒

●埼玉大学同窓会連合会主催の東京交流会に経和会も協力したいと考えています。

その他の行事予定紹介

●同窓会連合会主催：第5回むつめゴルフ会

1. 日時：平成22年11月12日(金)予定

2. 場所：森林公園ゴルフ倶楽部予定

3. 詳細：正式に決定しだい、経和会ホームページに掲載予定

蒼玄寮の記憶

埼玉大学大学院教育学研究科
教育専攻社会科教育専修一年

海老名 諒

この春で蒼玄寮の長い歴史が閉じる(※)ということで、蒼玄寮での5年間の思い出を振り返ってみようと思います。3人で一つの部屋に、1フロアで共有のトイレ・洗面所・補食室。「毎日が修学旅行」なんて先輩に言われていたが、まさにその通り。寮生仲間と合わない日はありません。廊下や部屋で長々と夜通し話すことも常でした。帰ってくると必ず同居人が「うーっす」とダルそうな



挨拶。4月には同じ階(寮生はブロックと呼びます)に入ってくる新入寮生の歓迎会が狭い12畳の部屋で酒と食事を丸く囲んで行われました。勿論、集団生活ですから喧嘩やトラブルもあります。1年生から留年生・院生まで、元気な人・静かな人、様々な寮生がいるのですから。ただ、どんな時も寮生内で解決しようと奮闘・葛藤する点は最後まで寮生による寮自治が機能したところなのだと思います。青々とした蔦が絡まったままの朽ち果てた建物。廊下には学生運動の頃のものであろう約40年前の落書き。2段ベッドに書き込まれた昔々の寮生の名前。廊下に止まらない話声と喧騒。共同浴場での裸同士の会話。同居人との人生論議。年中鍵をかけないドア。ノックの音と共に飲み会の誘い。お酒。感傷的な表現ですが、蒼玄寮は人の温もりを直に感じられる僕ら貧乏寮生にとって忘れることのできない永遠の故郷なのだと思います。

廃寮の何が残念かといえば、ずっと伝わってきた蒼玄寮の思い出を共有する後輩がいなくなってしまうことですね。もうそれに尽きると思います。

※現在、学生寮の耐震修繕工事を実施しており、平成23年4月から入寮が可能とのことです。

私の交流録



トーマツイノベーション株式会社
代表取締役社長

白濁 敏朗

昭和六一年卒

私が埼玉大学経済学部経営学科を卒業したのは昭和六一年でした。今から二四年前になりますが、時の流れはあつという間だなと感じます。学生時代に埼京線はなく、北浦和の駅前からバスに乗って大学に通った時代がなつかしいです。大学を卒業し、経営コンサルタントを目指し監査法人トーマツのコンサルティング部門に入りました。三年前からグループのコンサルティング会社の社長という役割を与えられ、約九十名の社員と「日本の中堅・中小企業を元気にする」ために日々精進しています。

当社(トーマツイノベーション)は有限責任監査法人トーマツのグループ会社であり、中堅・中小・ベンチャー企業専門の経営コンサルティング会社として誕生しました。社名に用いたイノベーションという言葉には、二つの意味を含めています。「お客様企業の革新」「経営ノウハウの革新」。企業が現状を打破し、大きく飛躍するために、我々は経営ノウハウの革新を日々行っています。そして、経営ノウハウの一部を簡単に実行できる「シンプルしかけ」として公開しています(図に示す拙著でもたくさんあります)。

図に示す拙著でもたくさんあります。当社は企業の潜在能力を引き出すDNAを破壊するよう、外科手術的なコンサルティングは行いません。企業が永続的に繁栄できるように、あくまでも企業の潜在能力を引き出すコンサルティングを行っています。理論・理屈を振り回すのではなく、「シンプルイズベスト」の発想でコンサルティングを行い、お客様の真の悩みを解決しています。

白濁氏の最近の主要著書紹介(こんな本を出版しています)

累計で82万部突破!



経営ノウハウのイノベーションの実践として、「イノベーションクラブ」という業界初の「定額制研修サービス」を開発し、3000社以上の中堅・中小企業に導入いただいております。一社当たり月額35000円という費用で、85種類の研修が何名でも何回でも受講できるという画期的なサービスです。中堅・中小企業では日々の経営課題に追われ、社員教育が後回しになってしまい、社員教育の優先順位が社長の中で万年2位となり、会社として、なかなか力が入らなくなってしまうがちです。そのような課題をお持ちの方は是非お声がけください。

経和会会員名簿(第4号)の刊行にあたって

埼玉大学経済学部同窓会「経和会」では、埼玉大学60周年を迎えるに当たり、平成20年度総会で、会員名簿第4号発行の承認を頂き、企画委員会(委員長 権田 憲吉 S43年度卒=S44年3月卒)の下に会員名簿刊行小委員会(小委員長 鎌倉 一郎 S38年度卒=S39年3月卒)を設置し、鋭意準備を始めました。

しかし、平成13年7月に発行した第3号以降の経過した9年強のギャップは大きく、担当者の悪戦苦闘が続きました。いわく個人情報保護法の問題、名簿悪用のエセ商法問題、卒業生増加に伴う卒業後の配付先変更のデータ管理の問題等々です。

卒業生10,000名の1/3の行方不明者、1/3の確認が取れない方(郵便は届いているのですが返事が無い)があり、如何に名簿に纏めるか喧々諤々の委員会を何度も持ち経和会会報の送付に合わせて、住所等のデータを確認する、交流会開催通知の度にデータを確認し、埼玉大学学術事業会の経和会事務局にデータを蓄積整備し、名簿の形に編集してみてからが大変でした。委員会では、9割り方終了したと安心してしまいましたが、索引の整備、使用文字等の横ぎしの統一整理、字体(外字=特別作成文字)の確認、旧姓・新姓の整合性等の確認に追われました。

何よりも最後に困った問題が勤務先等の索引の整備で、昨今の社会経済情勢での合併・併合・吸収による名称変更でして、お辞めになった方や現在も在籍している方等あり継続性が取れません。また大学院生の増加による年次管理上の欠落した年次が存在したり、大学当局にお聞きした卒業生の数と手元の名簿上の卒業生数を比較すると大きく40~50名の差異があったりしました。

また、皆さんは最近9月卒業と3月卒業とあるのをご存知でしたか? 今回の第4号では、〇〇年卒業では無く、〇〇年度卒業と統一させて頂きましたので確認してみてください。

そして、作成までに時間がかかり、費用が嵩んでしまいましたので現役員と役員経験者に賛助ご支援をお願いし、多数の方にご協賛頂きました。この場をお借りして感謝を申し上げます。会員名簿の最期にご芳名、賛助広告を掲載させて頂いております。

いよいよ最終段階です。平成22年7月10日の総会では頒布したいものと準備を急いでおりますので、今しばらくお待ち願います。

この新しい会員名簿が皆様のお役にたち、学部生の就職活動に役立ち、また交流の輪が更に広がる一助となれますことを念願致しております。

経和会会員名簿は1冊3,000円で頒布の予定にしております。

第5回 優秀論文 表彰	最優秀論文
	安斎 亘「第二地方銀行の破綻処理について」
	優秀論文
	三浦 公平「小説にみる地方都市の閉鎖性」

ありがとうございます 経和会終身会費及び賛助・広告代納入の皆様 平成21年5月~22年4月まで(敬称略)

〈新入会員〉平成21年入学 清水和吉、椎根陽一、吉田明多、枝尾竜成、加納千穂、改瀬博和、篠原安代、渡瀬芳彦、宇留野映美、佐藤大輔、貝田晋 平成22年入学 吉澤紫織、堤坂美友紀、橋本佳奈子、吉田純、堤健太、松原慎、小池智之、長島早希、三橋佳代子、平林里奈、佐久間慎、加藤隆一、遠藤駿平、村山永太、藤野貴文、河原田友輔、横山恭子、高山翔也、佐々木智香、鈴木優子、幕田雄貴、齋藤美沙、小田島平、湯田健太郎、吉岡桂吾、佐々木貴行、大塚啓弘、山本知佳、須貝将、寺西昂輝、橘蘭智志、相澤孫嗣、栗脇飛鳥、渡辺雄太、長橋望、三浦真、三重野五輝、田井芳弘、山越成将、松本彩花、中野悟志、中村圭太、小澤成樹、佐野優太、池澤奈都美、今関良	和、渡辺良太、柏木大樹、藤井健司、帶津裕一、佐々木葉月、佐藤広一朗、神元岳、小関凌、宮津健、白木亮次、武藤貴大、白波瀬悠紀、山本大我、笹崎雅裕、山村真世、前場亮伍、青木美保、大西夏未、山田和貴、三浦将樹、野々川真希、細井祥悟、村岸大輔、櫻井晴典、小野口哲朗、松岡優介、武尾耕介、松本梯樹、釣井陽介、関口周良、山口和希、藤沢悠、高久悠樹、高梨由子、松原響、中島真実、堀越洵平、正司園達輝、荒木敏晴、高田拓希、柳澤達也、中村直也、磯和也、岩城有紀、久松美穂、中川寛規、矢納翔太、鈴木彩夏、渋谷浩之、加納岳、浅野佑太、倉本恵里、佐藤大祐、鈴木淳文、迫坪直人、山田雄大、高取宏光、小川陽一、飯沼秀青、山田郁弥、増田宏輔、	岩淵雄太、加川百合、菅原誠悟、篠原信幸、小崎卓、坂亮太、蛇川大輔、石岩和也、坂田瑛一、森田諒、間山哲史、山中啓史、坪田康平、金田晃志、渡辺光明、三宅孝幸、長曾我部愛、吉田航、西舘峻一、多田圭佑、古河真友香、木俣朋大、對馬大地、前崎素生、坂井祐樹、遠藤康佑、宮崎勇汰、黒田陸、清水洋子、久保田紘生、端将、星英明、中谷伊織、宮田翔平、内田葉子	昭和56年卒 千明俊郎 昭和59年卒 秋山多弘、鈴木浩 昭和63年卒 佐々木建 平成8年卒 政二新吾 平成10年卒 古野輝 平成11年卒 平田満哉、菅藤英雄 平成12年卒 網野さやか 平成18年卒 八木澤佑一
	〈卒業生〉昭和31年卒 鈴木寛、澁谷多摩夫 昭和33年卒 森野亮一 昭和39年卒 高岡勲 昭和44年卒 高田光雄、明戸正毅 昭和45年卒 荒木憲一、久保孝夫 昭和46年卒 新井悟 昭和47年卒 松崎健、古木勉 昭和48年卒 小林千秋 昭和49年卒 戸井悟、北俊夫 昭和50年卒 高宮公治		〈賛助〉須藤富平、鎌倉一郎、今野耕作、大澤辰英、松崎健、大井洋文、田坂敏幸、岩佐毅、権田憲吉、芦野洋雄、由井文良、野村正弘、室久保貞一、青木茂、高野靖、高野正之、永井孝一、中堂雅彦、館逸志、柳沢ひとみ、野口和弘、寿永一郎
		〈広告掲載〉大橋秀夫、星医療機器、アイネット、ニッサン石鹸、内藤保険サービス、OCC、テレビ埼玉、日本自動機工、埼玉学術事業会	

編集後記	▶ 2年間、編集委員として埼玉大学OBの方々と関わらせて頂き、とても勉強になりました。至らぬ点もあったと思いますが、貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。(長澤重幸)	▶ 就職活動と並行しての編集作業でしたが、友人の協力もあって無事終わることができました。また、諸先輩方のお話も1年目とは違った目線で聞くことができ、とてもためになりました。ありがとうございました。(矢崎綾瀬)	▶ 前年同様、貴重な体験をさせていただきました。また、仕事と編集作業を両立させる先輩方には頭が上がりません! 来年から私も経和会の仲間入りをしますが、この縦の繋がりを大切にしていきたいです。(船越裕美)	▶ 昨年に引き続き、広報の仕事に携わらせていただきました。編集の仕事を通して、多くの方と関わることができ、大変勉強になりました。微力ながら経和会の活動の力になりましたことをうれしく思います。(伊藤 拓)